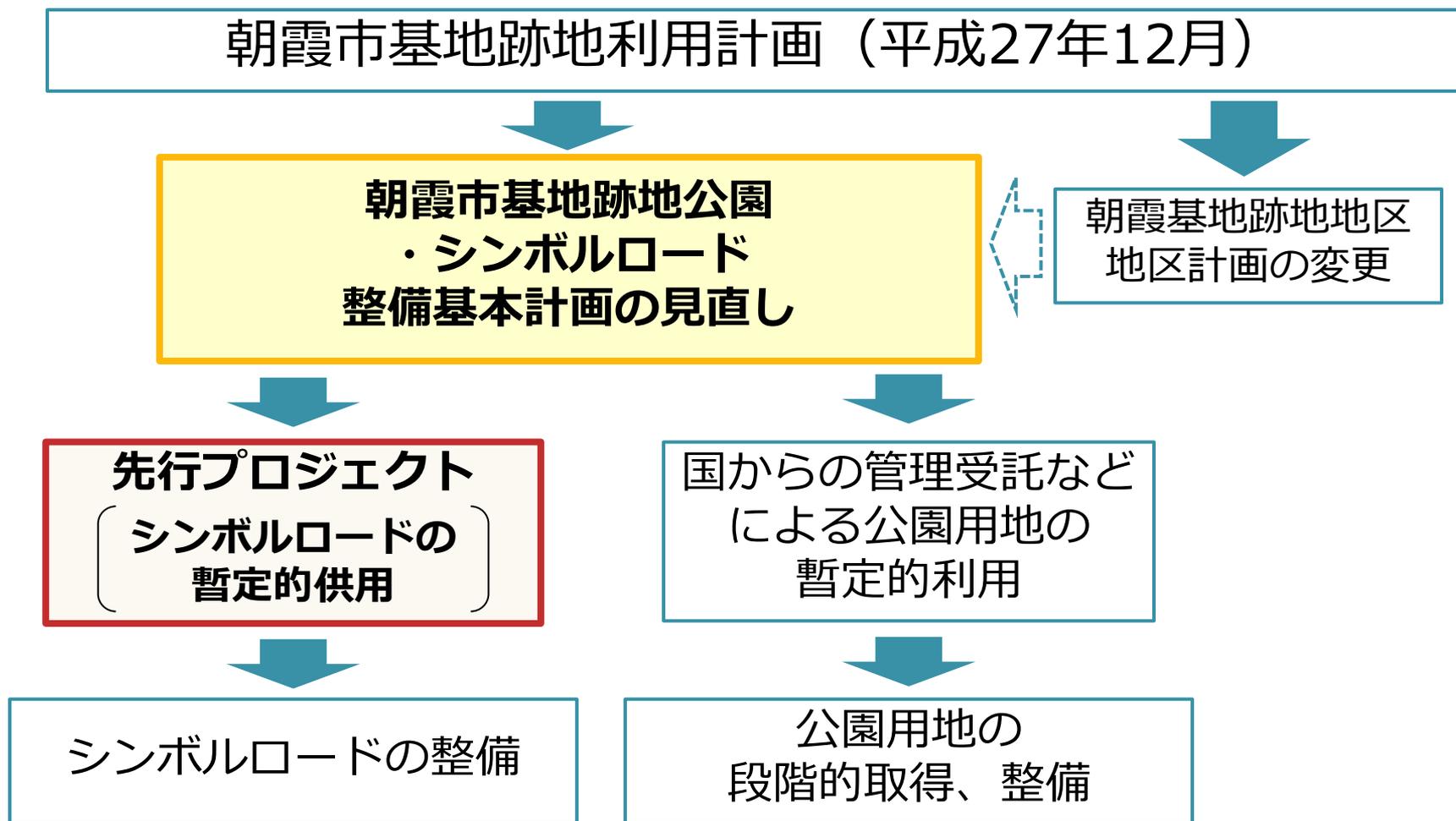


**朝霞市基地跡地公園・シンボルロード
整備基本計画
見直し方針（案）**

平成28年7月26日

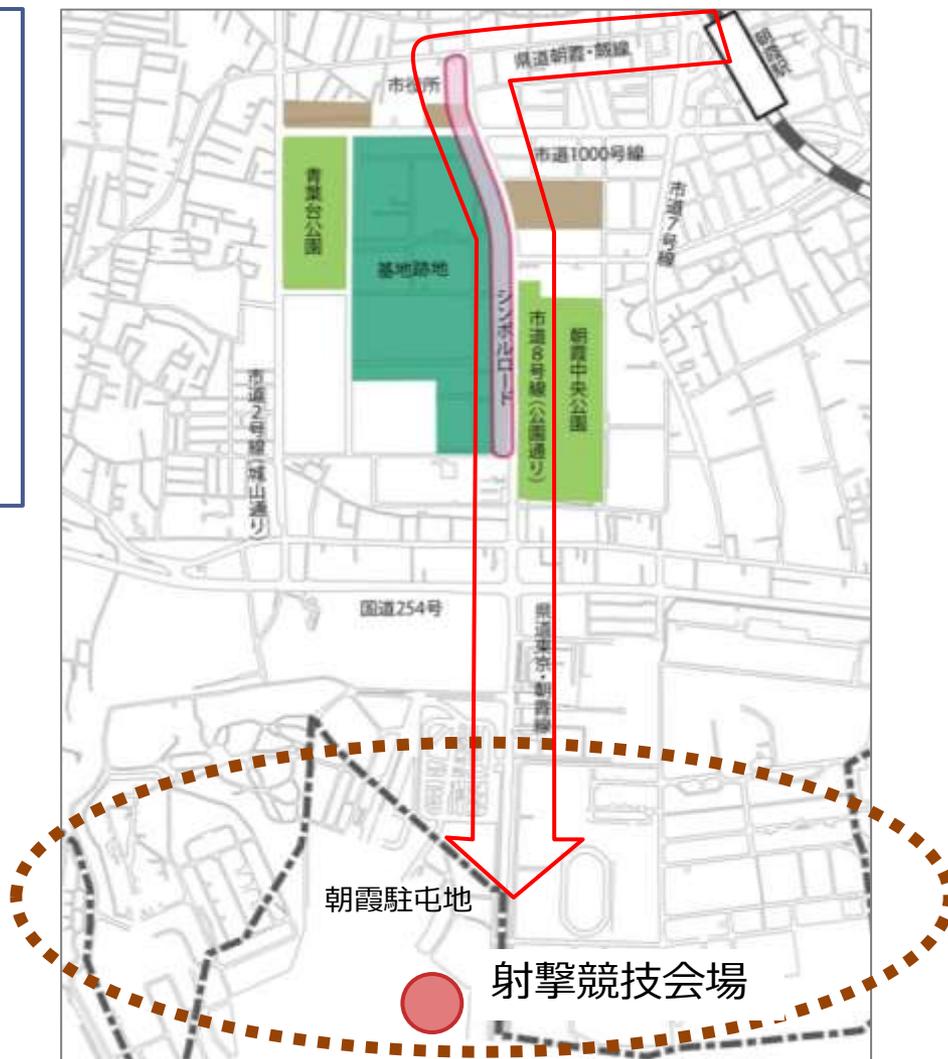
1 主な検討事項

(1) 検討の前提 ①整備の進め方



(1) 検討の前提 ②シンボルロード暫定的供用

- シンボルロードは、2020年東京オリンピック・パラリンピックに際して、射撃競技会場（陸上自衛隊朝霞訓練場）へのアクセスルートの一つとすることを計画
- そのため、シンボルロード部分について**平成32（2020）年までに一部暫定供用**を目指す



(1) 検討の前提 ③公園整備への着手予定

- 基地跡地公園全体の整備は、用地取得、土壌汚染対策及び先行プロジェクト（シンボルロードの暫定的供用）を考慮し、**平成33年度以降着手予定**

公園の段階的整備

現行の法制度の規定により、公園用地のうち少なくとも1/3は市が国から有償で取得する必要がある

(用地取得費試算額 約92億円※)

本市の予算規模を考慮すると、用地取得には数十年を要する

管理委託による暫定利用の検討

用地取得の進展に合わせて段階的に公園整備を実施

土壌汚染対策

検討対象区域の一部が、特定有害物質（鉛及びその化合物）によって汚染されており、土地の形質変更時に知事への届出を要する区域（**形質変更時要届出区域**）に該当（埼玉県告示第397号）

形質変更時要届出区域に汚染土壌の浄化義務はないものの、公園として整備した場合、**公園利用者が土壌に触れる可能性がある**

公園整備前に土壌汚染対策を実施
(国の責任と負担による撤去を要望)

先行整備、供用開始するシンボルロードを考慮し、公園整備は平成33年度以降に着手

(2) 主な検討事項 ①シンボルロード

○ 朝霞市基地跡地利用計画（平成27年12月）に示された3つの整備・活用イメージをもとに、延伸部分を含め具体的な活用方法、整備計画を検討

シンボルロードのイメージ

- ・ 拠点と拠点を結ぶにぎわい軸
- ・ 公園に誘導する道
- ・ 公園と一体となったにぎわいとやすらぎの空間



各イメージの活用方法、展開範囲、整備内容を具体化

【イメージ1】
樹木密度が高い場所



【イメージ2】
樹木密度が中間の場所



【イメージ3】
樹木密度が低い場所



現行計画のゾーニング図

(2) 主な検討事項 ②基地跡地公園

- 現行計画の整備の方針・整備水準を踏襲しつつ、「朝霞市基地跡地利用計画」(平成27年12月)の変更点を反映

基地跡地公園のイメージ

- ・ 市民に愛される、にぎわい、交流の拠点
- ・ 自然と共存する公園
- ・ 周辺公共施設と一体となった憩いの場
- ・ 市民とともに、使いながら成長させる公園

- ② 青葉台公園と連携した総合公園としての機能の検討

現行計画の
ゾーニング図



(3) 主な検討事項 ③シンボルロード・公園の活用

○イベントによる利活用や収益施設の導入等、**公園とシンボルロード及び周辺公共施設が連携した空間の活用、管理運営**の方策を検討

活用イメージ

〔例1〕
イベント等による
利活用①



(写真) 高知 よさこい祭り

活用イメージ 〔例1〕 イベント等による利活用②



(写真)
定禅寺ストリートジャズフェスティバル
出典：仙台市HP



活用イメージ 〔例1〕 イベント等による利活用③



(写真)
西川緑道公園筋回遊性向上社会実験
出典：岡山市HP

活用イメージ 〔例2〕カフェの設置①



(写真) 豊島区 南池袋公園

活用イメージ 〔例2〕カフェの設置①



(写真) 豊島区 南池袋公園

活用イメージ 〔例2〕カフェの設置②



(写真) 「世界一美しいスタバ」として知られる
富山県富岩運河環水公園のスターバックス

活用イメージ 〔例2〕カフェの設置③



(写真) 札幌・大通地区におけるオープンカフェ社会実験
出典：経済産業省「まちげんき」HP

活用イメージ 〔例3〕 散策路①



(写真) 都立光が丘公園

活用イメージ 〔例3〕 散策路②



(写真) 国営昭和記念公園

(4) 整備基本計画書の見直し項目

- 以上を踏まえ、朝霞市基地跡地公園・シンボルロード整備基本計画書について下記のとおり見直しを行う

整備基本計画書の構成

主な見直しの内容

(特に記載のない章についても必要な時点修正を実施)

序. 本計画の策定の目的

1. 公園・シンボルロード計画地の現況

2. 整備の方針と整備水準

3. ゾーニング

4. ゾーニングのイメージ

5. 歩行者・自転車・管理用車両動線

6. 基本計画図

7. 各断面イメージ

8. 管理施設・便益施設の考え方

9. 防犯の考え方

10. 基地の歴史の保存・活用の考え方

11. 管理運営の考え方

12. 今後のスケジュール

資料編

朝霞市基地跡地利用計画（平成27年12月）等の上位計画の反映

シンボルロードの活用方法、整備計画の追加

駐車場・駐輪場以外の便益施設、管理施設に関する内容の追加

(新規) 公園等の利活用、市民参加に関する項目を追加

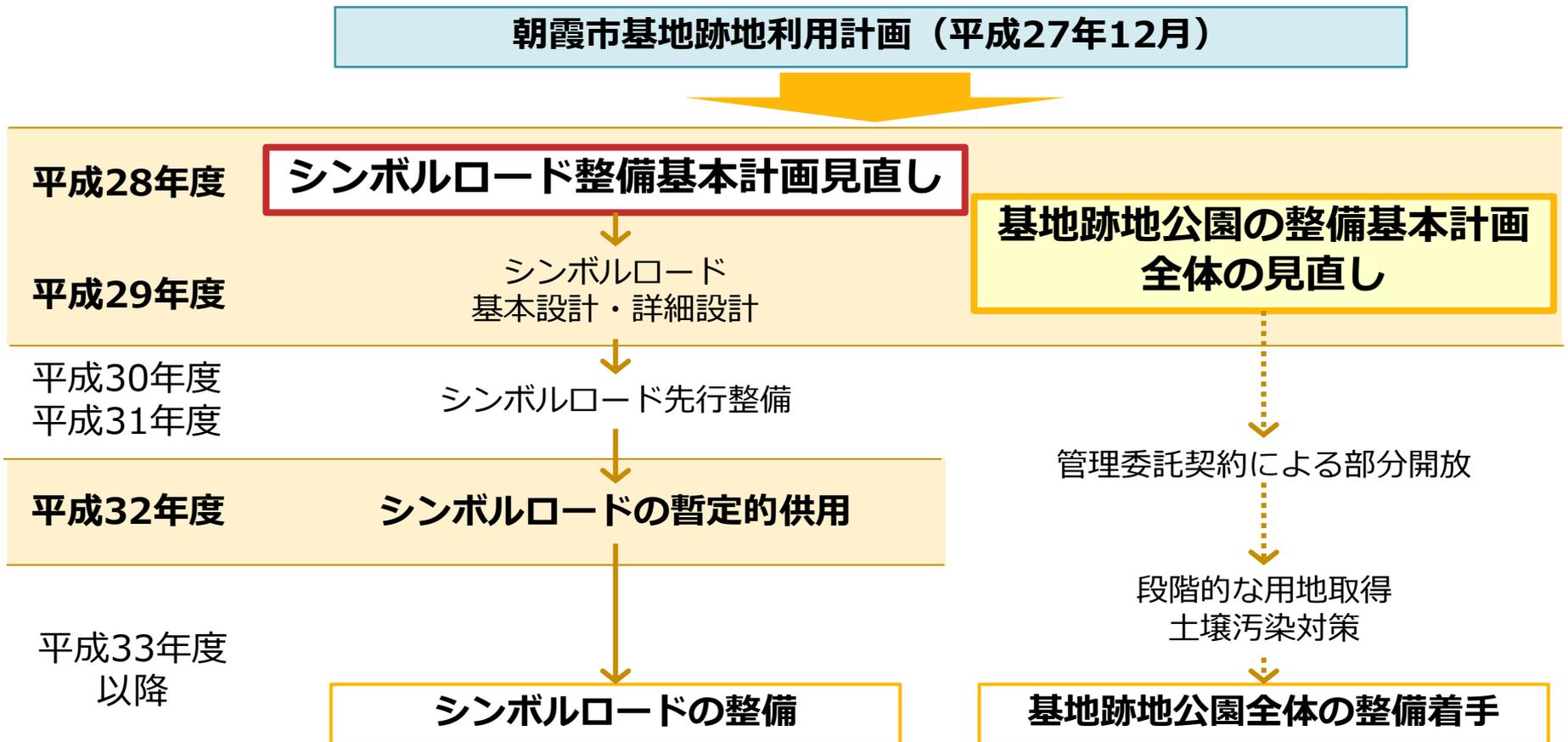
事業スケジュールの具体化

生物相確認結果の反映

2 整備基本計画見直しの進め方

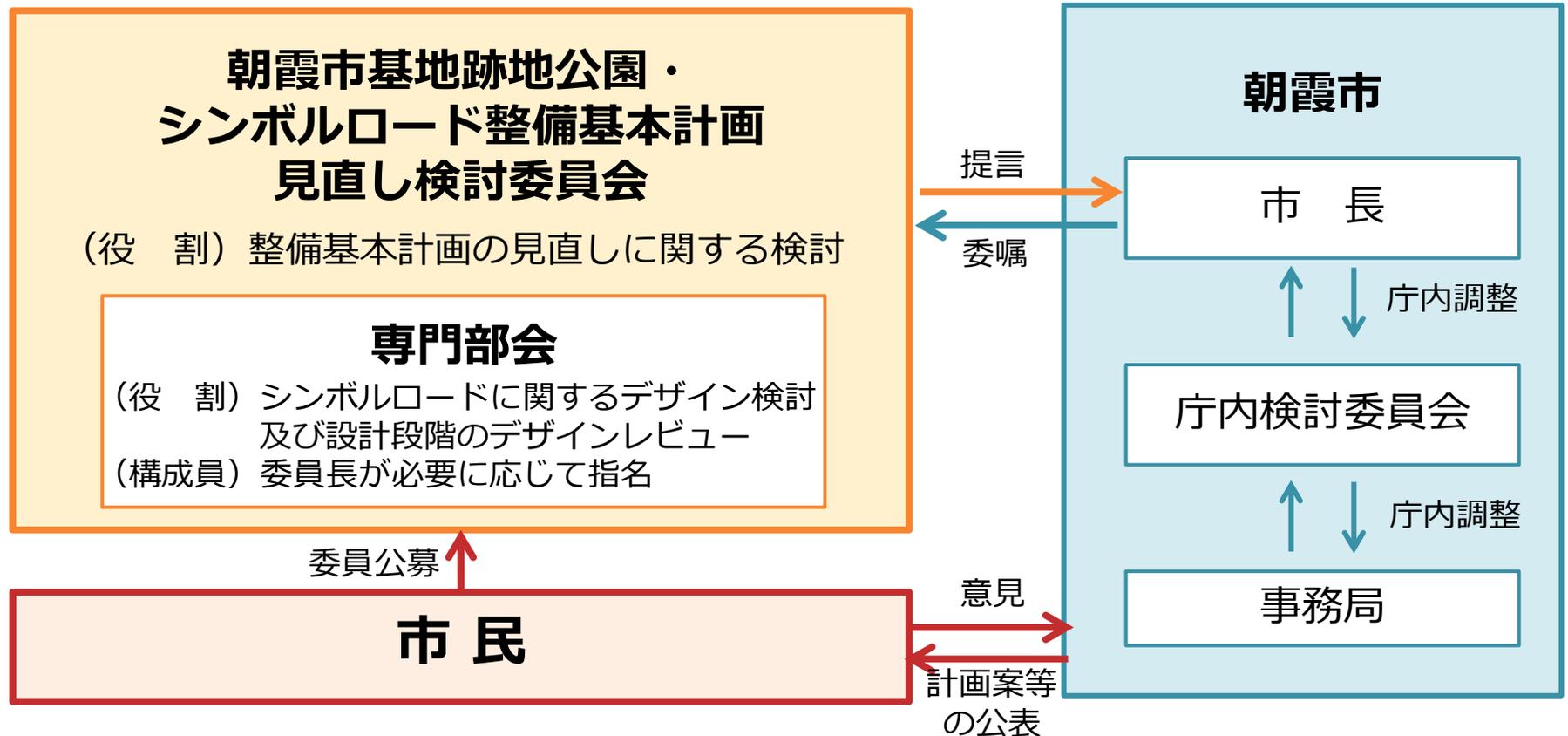
(1) 整備基本計画見直しの進め方

- 平成32年までにシンボルロードの暫定的供用を実現するため、**シンボルロードの整備基本計画を優先して策定**



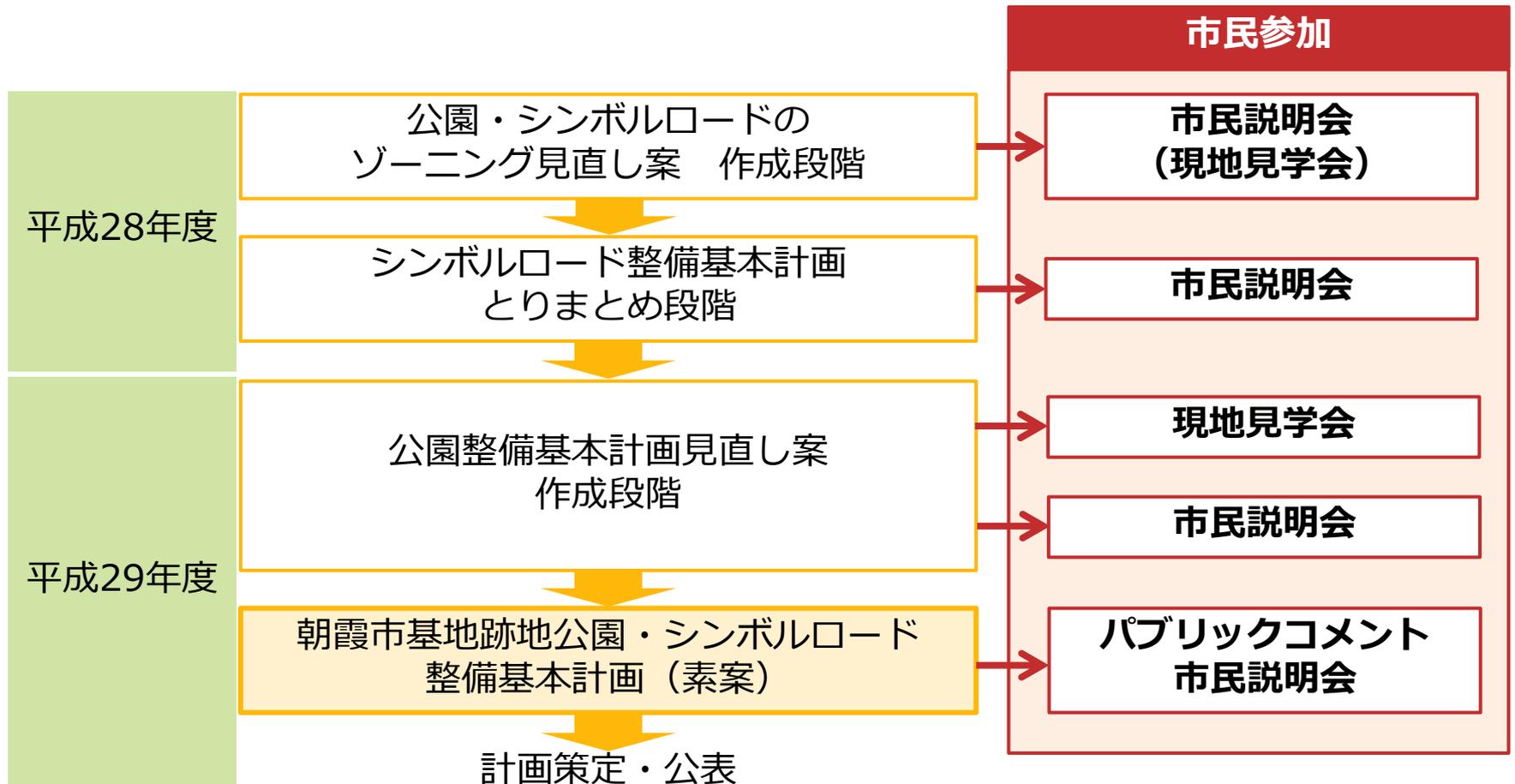
(2) 検討体制

- 朝霞基地跡地公園・シンボルロード整備基本計画見直し検討委員会（以下「検討委員会」という。）を中心に、整備基本計画の見直しを実施
- **シンボルロードのデザイン**については、専門的見地から検討を行う**専門部会**を**検討委員会内に設置**し、専門部会の検討結果を検討委員会において審議



(3) 整備基本計画見直しへの市民参加

- 整備基本計画見直しの主要な段階において、**市民説明会または現地見学会**を開催し、検討の状況・結果の報告、市民の意見聴取を実施
- 整備基本計画（素案）をまとめた段階で、**パブリックコメント**を実施



3 今後のスケジュール（案）

平成28年度スケジュール（案）

		平成28年度									
		7	8	9	10	11	12	1	2	3	
整備基本計画見直し		現況把握・ 見直し方針の検討	全体ゾーニングの見直し							施設配置 基本計画図 見直し	
					生物相確認（鳥類）			生物相確認（鳥類）			
シンボルロード			整備方針・ゾーニングの検討								
				基本計画図の検討 概算工事費の算出 事業スケジュールの検討						シンボルロード 整備基本計画 とりまとめ	
市民参加					★市民説明会 (現地見学会)					★市民説明会	
検討委員会		●				●				●	
専門部会			◎		◎		◎	◎			
庁内検討委員会		◆				◆			◆		

平成29年度スケジュール（案）

平成29年度												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
整備基本計画見直し	管理運営に関する方針・取組の検討				整備基本計画書（素案）作成			パブリックコメント	パブリックコメント結果の反映		基地跡地公園・シンボルロード整備基本計画策定	
	概算工事費の見直し		事業スケジュールの検討									
シンボルロード	(基本設計・詳細設計)											
市民参加		★現地見学会			★市民説明会			★市民説明会				
検討委員会		●					●			●		
専門部会	←----- シンボルロード設計に関するデザインレビュー（回数未定） ----->											
庁内検討委員会	◆						◆			◆		